

神奈川県肉豚共進会開催される

(一社)神奈川県養豚協会(会員数:71農場)主催の令和元年度神奈川県肉豚共進会が横浜市中心卸売市場食肉市場で開催され、5月15日(水)に生体の部審査、5月17日(金)に枝肉の部審査が行われました。畜産技術センターでは、所長が審査長となり、普及指導課は審査員を務めました。また、各関係機関とともに共進会の運営にも協力しています。

共進会には去勢・雌を1組として100組・200頭が出品されました。審査は生体の部と枝肉の部の成績を合算し、去勢・雌の総合成績で順位を決定しました。各農場から選び抜かれた肉豚が出品され、特に枝肉の部では甲乙つけがたい優秀な枝肉がそろっており、審査が難航するレベルの高い共進会となりました。

名誉賞となった農場は、枝肉の部で雌が極上の格付けとなり、昨年度からの連覇となりました。日頃取引をしている食肉市場での評価も高く、種豚・肉豚選抜の的確さ、飼養管理技術の高さ等の日頃の研さんの成果がうかがえました。

また、今回の共進会の見学は、豚コレラの影響で、自己責任のもと自由参加となりましたが、枝肉の部当日は、上位入賞を果たした生産者や県内農業高校の生徒も参加し、上場された枝肉の状況や市場の買参人に好まれる枝肉の概要等に関して、活発な意見交換が行われました。

当日のセリで、上位に入賞した枝肉が2,198円/kgの高値(当日の横浜市場上物加重平均600円/kg)で競り落とされると、歓声があがりセリ場は盛り上がりました。

畜産技術センターは、今後とも出品された豚の体型や枝肉の形状の評価をふまえ、各農場の生産物品質向上の支援に努めていきます。



(左) 生体の部審査風景

(右) 枝肉の部、雌の上位1席の枝肉(格付:極上)